



膵臓の病気(前編)

何の前触れもなく激痛に襲われる「急性膵炎」について

■膵臓について

【位置】

膵臓はみぞおちとおへその間、胃の裏側(胃の背中側)にある臓器です。

【膵臓の働き】

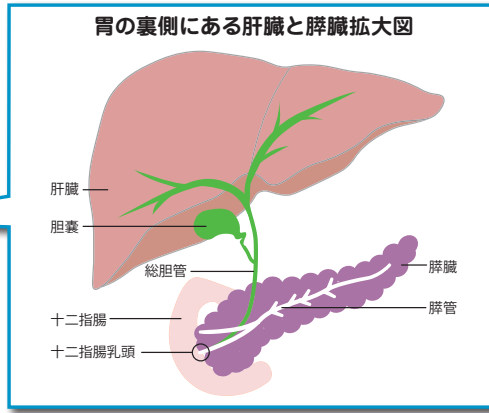
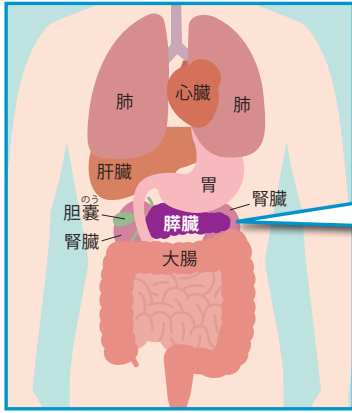
主に二つの働きがあります。

- ① 食べ物の消化に必要な消化酵素などを含んだ「膵液」を作り分泌する働き(外分泌機能)
- ② 血糖値を調節するインスリンなど、さまざまなホルモンを作り分泌する働き(内分泌機能)

膵臓って、どのへんにあるのか見てみましょう!



食べ物の消化吸収を助けるとっても大事な仕事をしています!

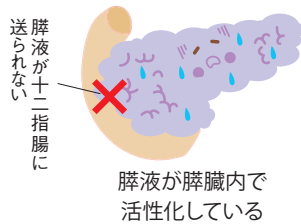


健康な膵臓



膵液が十二指腸に正常に送られている

自己消化している膵臓



自分の臓器を自分で溶かしちゃうなんて…想像しただけでも痛すぎるピッ…



▼急性膵炎とは?

膵臓というと、インスリンなどのホルモン分泌の働きの方が知られているかもしれませんが、もう一つの重要な働きとして、食べ物を分解して消化を助ける膵液の分泌があります。

「消化器」の一つである膵臓は、消化酵素を含む膵液を分泌しています。膵液の消化酵素は膵臓内にあるうちは消化能力をもたず、十二指腸に流れ込んで初めて消化能力を発揮します。

ところが、膵臓が何らかの原因によって急に炎症を起こすと、膵臓は自分で自分を消化し始めてしまいます(自己消化)。

自己消化が始まると…

- 膵臓の細胞が壊れる
- 膵液の通り道(膵管)が炎症によって細くなったりつまってしまう

胃の裏側に隠れるように存在している膵臓は病気を発症しても非常に気づかれにくいことから「暗黒の臓器」、あるいは肝臓と並んで「沈黙の臓器」と呼ばれています。

本誌では、患者数が年々増え続けている膵臓の病気について、今号の前編と次号の後編の二回に分けて特集します。まず今号の前編で取り上げるのは「急性膵炎」です。

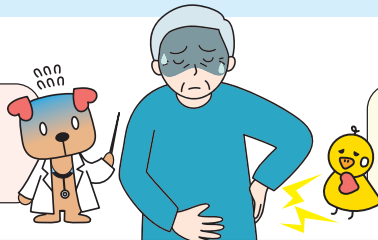
監修

千葉原医師会
原 太郎 医師

【急性膵炎の症状】

症状	状態
① 腹痛	<ul style="list-style-type: none"> ・上腹部の痛みが典型的ですが、痛む場所が広範囲の場合もある ・軽い痛みの場合もあり、まれに痛みを感じない無痛急性膵炎もある
② 嘔吐・吐き気	<ul style="list-style-type: none"> ・何時間も吐き気がありムカムカする ・何度も激しく吐く <p style="text-align: right;">など</p>
③ 発熱	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は正常なこともあります、数時間で高熱になることがある
④ 背中への痛み	<ul style="list-style-type: none"> ・膵臓は胃の裏側(背中側)にあるため、背中への痛みを感じることもある

急性膵炎の患者数は増え続けています…
もっとも特徴的な症状は、立てられないほどの胃周辺部の痛みです。



人によって痛みの症状は違うんだピッ…
何日かけて少しずつ痛みが出る場合や
いつの間にか痛みが消えてしまうことも
あるらしいピッ

⚠️ 急性膵炎発症の危険な要素

- ▲ ほぼ毎日のようにアルコールを摂取する！
(純アルコール 40g 以上 / 1日の摂取で、発症率が3倍以上になるともいわれている)*
- ▲ たまにしか摂取しないが、一度に大量のアルコールを摂取する！
- ▲ 暴食！ 中性脂肪の高値に注意！
(膵臓の毛細血管や細胞にダメージをあたえる)
- ▲ 脂っこいものや肉類にかたよった食事！
(膵炎の原因の胆石をつくりやすくなる)
- ▲ 喫煙！

アルコールを摂取する人は
リスクが高い！



※ 女性やアルコールを分解する働きが弱い体質の方は、純アルコール20g/1日程度でもリスクがあるといわれています

▼ 急性膵炎の原因

原因の多くはアルコールと胆石です。男性はアルコール性、女性は胆石性が多く、原因がはっきりしない(特発性)場合もあります。アルコール性の場合、アルコールの過剰摂取によって膵液の分泌が増える、さらには膵管の中にたんぱく栓や石ができて膵液がつまりまってしまうことにより、膵炎が起こります。胆石性では、胆石が胆管の出口部分でつまつた場合に、膵管がふさがれてしまうことにより(膵管と胆管の出口は同じ場所にあります)、膵炎を発症します。

そういったことが起こります。そうになると、出口を失って膵臓内にたまった膵液により、自己消化による炎症はますます悪化。膵液が外へと漏れ出し、周囲の臓器にまで炎症が広がっていきます。

肝臓とつながっている胆管に炎症が及んで細くなったりつまってしまうと、胆管を流れる消化液(胆汁)が肝臓にたまって肝機能障害がでたり、黄疸がでることがあります。

急性膵炎の典型的な症状は、突然起こる上腹部の激しい痛みです。食後や飲酒後に、みぞおちや背中あたりに突然、激的な痛みを感じたとしたら、急性膵炎かもしれません。多くの場合、吐き気や発熱といった症状を伴います。

その他の原因として、男女ともに菓やウイルス、喫煙などが挙げられる他、親族に膵臓の病気が多い方の場合、通常の原因による急性膵炎ではなく、遺伝性膵炎の可能性が

【診 断】

問 診	どのあたりがどんなふうに痛むか、内服薬の種類、喫煙歴、飲酒歴などを確認する	
触 診	お腹を押して痛い部分や張り具合を確認する	
血液検査	炎症や膵臓の消化酵素（アミラーゼなど）の数値に異常がみられることがあり、重症の場合には、肝臓や腎臓の数値に異常が出ることもあるため検査する	
尿の検査	膵臓から出る消化酵素（アミラーゼ）が尿に含まれていないか確認する	
画像検査 <small>腹部X線・腹部超音波検査・CTなど</small>	膵臓の炎症や腫れの程度、周囲の胆管や消化管に異常は無いか、胆石の有無などを確認する	
そ の 他	原因が胆石の場合は胆石を除去する 急性膵炎と診断された場合は、重症度も判定する	

■ 命の危険もある重症化について

重症度の判定基準		
年 齢	70 歳以上の高齢者	
心 拍 数	心拍数が上がってきている	
血 圧	血圧が低下する	
呼 吸 状 態	呼吸困難になっている	
尿 量	尿の量が少なくなっている	
血液検査や CT 検査	病状が悪化している	



他の臓器にまで炎症が広がるため、危険な病気です。また、急性膵炎の重症度に比例して慢性膵炎に移行する確率も高くなるといわれています。

などの検査結果や症状等から判定されます。

▼ 重症化すると命の危険も！

発症しやすい年代としては、男性の場合は60代がピーク、女性の場合は70〜80代頃がピークとなります。

急性膵炎の多くは軽症・中等症ですが、約20%の方は重症化するといわれています。重症化した場合は左記のようなことが起こります。

- 炎症が肝臓や腎臓など他の臓器にまで広がり臓器の機能不全をきたす
- 血圧が下がりショック状態におちいたり、意識障害、呼吸状態が悪化する
- 膵臓が壊死し、敗血症などの感染症を併発する

急性膵炎は、受診当初は軽症のようにみえても、翌日に一気に重症化していることが珍しくない病気です。重症化してしまうと治療は困難となり、そのうちの約10%の方が死に至ります。

命にかかわる危険な重症化を見逃さないため、急性膵炎と診断がついたら、ただちに入院して重症度判定を行います。

▼ 急性膵炎の治療

急性膵炎と診断されたら、多くの場合は入院が必要となります。重症の場合には、集中治療室で血圧や脈拍などを継続的にモニタリングします。

治療の基本は、弱った膵臓を休ませて安静を保つことです。食事や水分を摂取すると、

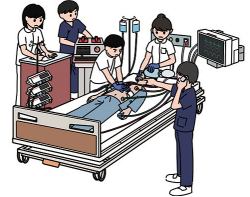
【治療】

主な治療内容

- 輸液を行い水分・電解質を補う
- 膵臓を休ませるために絶飲食もしくは脂肪制限食とする
 - * ただし、脂肪の入っていない栄養剤は早期から開始し、口からの摂取が難しい場合は鼻からの管で胃や十二指腸に栄養剤を注入します。
- 痛みに対する鎮痛剤を使用する
- 感染の兆候がみられた場合は、抗菌薬を使用する
- 呼吸の状態が悪化した場合には、人工呼吸器が必要な場合もある
- 胆石が原因の場合には、並行して胆石を採石する治療を行うことがある



絶飲食もしくは脂肪制限食



【予防】

急性膵炎は繰り返す可能性が高い病気のため、くれぐれも注意！

- 禁酒(アルコール性の場合は、禁酒が最も効果的な予防方法です)
- 禁煙(タバコは急性膵炎を起こす確率が高まるといわれています)
- 脂身の多い肉や揚げ物は、なるべく控え、「腹八分目」を心がける
- 暴饮暴食、刺激の強い食べ物、飲み物を控える
- 体重管理に気をつける



など



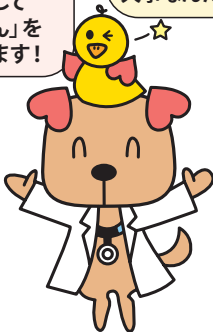
家族に膵臓病の人がいると
リスクが高いみたいだビッ…
日々の生活習慣を気をつける
ビッ!



急性膵炎は発見が遅れると
命にかかわる病気です。
例えば大量の飲酒をして数時間後に
みぞおちや背中が痛くなったら、
そのサインを見逃さず、
消化器科をすぐに受診してください!

次号ミレニアム
90号特集は、
膵臓の病気の
後編として
「膵臓がん」を
取り上げます!

病気を早期発見
するためには、
知っておくことが
大事なんだビッ!



膵液の分泌が促されて膵炎を悪化させてしまうため、初めのうちは絶飲食して水分や栄養を点滴で補給、あるいは脂肪制限食とします。他にも必要に応じて、激しい痛みをやわらげるための薬物療法、腸管への栄養補給や、胆石を取り除く治療、血液透析などが行われます。症状が改善してきたら、消化の良い食事を少しずつ摂っていき、食事しても何の症状も現れなくなったら退院となります。

膵炎の程度がごく軽症の場合は1週間ほどで完治しますが、重症になると数か月にわたり専門の医療機関に入院して全身の集中治療を受けることとなります。

急性膵炎は再発しやすい病気です。しかも、再発を繰り返すと、膵臓がんのリスクを高める慢性膵炎に移行する危険性があります。

急性膵炎が完治しても、発症した原因が過剰な飲酒であるなら禁酒を、暴饮暴食ならバランスのよい食事を心がけるなど、生活習慣の改善が不可欠であることを覚えておきましょう。